

ほっぷ 児童発達支援支援プログラム

事業所名

ほっぷ (児童発達支援)

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		「障がい児者と保護者をずっと支える居場所をつくるために全力をつくします。」 障がいのある方々とご家族の気持ちに寄り添いながら、ともに悩み、歩んでいきたいという気持ちを理念にしています。						
支援方針		専門職との連携を図りながら心身の状態を常に把握し、遊びの中で「楽しい」「やりたい」という気持ちを引き出しながら、一人ひとりに必要な支援を段階的に進めていきます。						
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 検温など日常的な健康状態のチェックと合わせて、お子さまの小さなサインから心身の異変に気付けるようにきめ細かに見守ります。 さまざまな遊びを通して生活のスキルや社会的訓練ができるように、個々の特性に配慮しながら環境を整え、発達の状況を把握しながら段階的に進めていきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> お子さまの状態や発達の段階、特性、興味関心に応じて遊びを組み立て、保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚）が十分活用できるように支援します。 感覚の特性に配慮しながら環境を整え、必要に応じて補助用具も活用します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で保有する感覚を十分活用し、感覚から得た情報が適切に取得されるようにながす支援をします。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害を予防しながら、適切な行動へ導く支援をします。 環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動につなげる一連の認知過程に対しての発達を支援します。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な物事や体験の中で、場面にあった言語の習得や行動をうながしていきます。 発達の状況に合わせたコミュニケーション手段を適切に活用しながら、物事の理解や意思の伝達ができるように支援します。 個々に配慮された場面において、ほかの人との相互作用を通してコミュニケーション能力を向上させるように支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人との安定した関係を形成するために必要な行動や感情のコントロールができるように支援します。 見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びといったさまざまな象徴遊びを通して個々のペースで社会性の発達を支援します。 集団での遊びや活動に参加するためのルールや方法を理解していけるように職員が介入しながら支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や連絡帳を利用して情報を共有しながら、困りごとには随時相談に応じます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園等の並行利用先と情報を共有しながら、お子さまへの支援方法を検討し、生活や支援の充実を図れるようにします。必要に応じて相談援助も対応します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園、保健師等との関係機関との連携を図り、お子さまの情報を共有しながら支援方法や環境調整に関する相談援助に取り組んでいます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 多機能施設ならではの内部研修として、他事業所（未就学児から大人まで）への移動研修を実施しています。 外部研修も積極的に受講しています。 	
主な行事等		節分、ひなまつり、春の遠足、端午の節句、七夕、夏祭り、秋の遠足、クリスマス会、お正月						